



Weekly Report

福島中央ロータリークラブ会報



事務局 〒960-8051 福島市曾根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



私が会長を務めさせていただく2024-25年度がスタートしました。不安で、不安でたまりません。

会員皆様のご支援をいただきながら、微力ながら精一杯努めて参る覚悟ですので、宜しくお願い申し上げます。7月は「母と子の健康月間」であります。

以前に、太田靖之著「産声が消えていく」の産科を舞台にした医療サスペンスの小説を読んだことが有ります。私は「赤ちゃん」はその時期が来て力めば生まれるものと思っておりましたが、それは大きな間違いで、母親が

命を懸けて出産することを知りました。特に異常分娩は命がけだと知りました。ロータリーが行っている「母と子の健康月間」は、毎年5歳未満で命を落とす子供は世界で推定590万人と言われております。それは栄養失調や適切な医療機器や衛生設備の欠如によるもので、どれも予防できるものです。このことに対してロータリーは力を注いでいます。

ロータリーのこのプログラムの実績としては

- 1) 母子の死亡率が最も高い「ハイチ」に於いて、医療ボランティアと助産師が僻地に住む母と子に対し、医療ケアの提供がスムーズに行えるよう、医療機器を搭載したジープの寄贈。
- 2) インドでは、可動式のがん検診機器の提供と、認識向上を目的とした研修の実施。
- 3) 発展途上国では自宅出産する女性が多いのですが、これを安全に行えるように500万ドルを投入しております。特に、産科ろう孔(出産により産道に穴ができる疾患)で苦しむ女性の治療の実施。

等を持続的に行っております。

私個人としては、ユニセフの「つなぐよ子に」で寄付をしておりますが、これに加えて微々たるものですが、このような事業に参加できていることをうれしく感じております。

肝心の今年度の私の方針といえば大げさになりますが、後ほど「会長挨拶」で述べさせていただきます。

幹事報告

多田 憲司幹事



- 1) 会員証の配布について
- 2) 青少年交換留学生の募集
- 3) 7月のロータリーレートは、1ドル161円です。
- 4) 明日7月4日(木)県北第一分区の会長・幹事が福島RCの例会にメイクアップの後、報道関係各社及び県庁・市役所へ表敬訪問いたします。
- 5) 7月6日(土)13:30～ホテル華の湯にて「前期地区委員会総会」が開催されます。
- 6) 来週7月10日(水)の例会は、18:30～ウェディング エルティにて「新旧役員歓送迎会・RAC合同例会」です。ぜひご出席ください。

2024年7月3日(水)

第1回(通算1588回)

ウェディング エルティ

「会長・幹事・SAAスピーチ」

例会次第

「会長幹事バッジ引き継ぎ式」

◆開会点鐘

◆国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 齋藤 康隆会員

◆「四つのテスト」唱和

職業奉仕委員会 佐藤 龍史委員長

◆お客様・来訪ロータリアンの紹介

・新会員の紹介 石橋 真一新会員

◆遠藤 幸喜会員よりごあいさつ

◆2024-25年度 地区役員・委員

委嘱状及び任命状の交付

◆7月会員及びパートナーの誕生祝

◆会長あいさつ

◆幹事報告

◆各委員会報告

・8月のプログラム紹介

プログラム委員会 穴戸 宏行委員長

・ニコニコBOX委員会報告

植木 博隆委員

◆会長・幹事・SAAスピーチ

・山田 稔SAAスピーチ

・多田 憲司幹事スピーチ

・佐藤 信雄会長スピーチ

◆閉会点鐘



本日の出席率

会員数	41名
出席者総数	22名
うち出席免除会員出席	2/5名
出席率	57.9%

SAAスピーチ

山田 稔SAA

皆さんこんにちは、本日はS.A.Aもスピーチをすることになっておりますので話させていただきます。今年度のS.A.Aは山田稔と副SAA大出隆秀会員、SAA補佐は箭内一典会員、佐藤龍史会員の4名でつとめさせていただきます。

一昨年はSAA補佐でしたが今年度はSAAに昇格させていただきました。SAAとしては、本年度の会長方針にしたがい、SAA(会場監督)としていかに魅力ある例会が出来るかを大切にして、スムーズな進行が出来るように取り組んでまいります。具体的な職務として

1. 例会会場の入場・退場の許可及び開門と閉門
2. 卓話及びプログラムの進行の管理
3. 来訪者のテーブルへの誘導
4. 遅刻・早退の承認及び許可
5. 卓話中の私語に対する警告

今年度も席はくじ引きといたしますので、会場に来られたら席札を引いていただくようお願いいたします。毎回違った方と話をし親睦を深めていただきたいと思います。

教育会館で例会を行うときは、机や椅子、ロータリー旗、国旗などの掲揚の担当の委員会が毎回決まっておりますので、年次計画書または例会の案内の中に担当委員会を入れていただきたいと思います。

例会への時間もギリギリで来られる方もおられますが、例会はみなさんと情報交換をしたり、親睦を深める時間でもありますので、できるだけ早めにおいでいただきたいと思います。

今年度も一年間よろしくお願い致します。

退会のごあいさつ

遠藤 幸喜会員

この度、勤務する東邦銀行の人事異動により本店人事部へ転勤となったため、当クラブを退会させて頂くことになりました。後任の支店長が来週には着任し、入会させていただきます。予定ですので、引き続き宜しくお願いします。在籍させて頂いた2年間、皆さまには大変お世話になりました。入れ替わりで私は退会となりますが、機会があればまたロータリー活動に関わっていかれたらと考えております。最後に、福島中央ロータリークラブの益々のご発展と会員皆さまのご健勝を心より祈念しましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



幹事スピーチ

多田 憲司幹事

2024-25年度佐藤信雄会長のもと、福島中央ロータリークラブの幹事を仰せつかりました多田でございます。

私は2020年の8月に入会をさせていただきました。ロータリーの経験としましては4年弱であります。まだまだロータリーについて知らないことも多く勉強中の身ですので、一年間務まるのか不安ではありますが、ぜひ皆様からご指導・ご鞭撻を賜りながら、私なりに精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

2024-25年度RI会長ステファニーA. アーチック氏のRIテーマは、「ロータリーのマジック」(英語:The Magic of Rotary)であります。

アーチック会長は講演の中で、「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです。」と述べられたそうです。

問題解決に特効薬はなく、人と人との思いやり、繋がり、声をかけあうことが始まりの一步である、と私は解釈しました。そのテーマを実現できるよう、微力ではありますが一年間取り組んでまいりたいと考えております。

本年参加させていただきました次期幹事セミナーにて、阿久津肇パストガバナーから「幹事に求められる心得」を教わりました。

幹事の責務として、

1. 事務的なことをしっかりと
2. クラブの要
3. 会長と幹事はパートナー

幹事の心得として、

1. 会長と連絡を密に
2. クラブの現況把握
3. 外部からの連絡・情報を適切に処理
4. 幹事報告

その他多くの業務があることを教えていただきましたが、特に印象に残ったのは「例会における幹事報告でクラブのレベルが推量される」とのご教示です。幹事としての責任の重さを感じた次第です。すべてを行うことは能力不足で難しいかもしれませんが、少しでも達成できるよう努めてまいりますので宜しくお願い致します。

最後に、まだ入会歴も浅く、分からないことだらけの未熟な状態ですので、皆様には物足りなさを感じさせてしまうかもしれません。またご迷惑をおかけしてしまうことが多々あるかもしれません。ぜひ温かい目で見守っていただければ幸いです。

一年間、宜しくお願いいたします。

8月のプログラムの紹介



穴戸 宏行
プログラム委員長

日付	内容	時間	会場
8月 7日(水)	会員増強委員会セミナー報告(箭内 一典会員)	12:30	ウェディング エルティ
8月14日(水)	お盆特別休会		
8月21日(水)	新会員スピーチ 石橋 真一会員	12:30	教育会館
8月28日(水)	納涼夜間家族例会 ※登録料8,000円	18:30	ウェディング エルティ
8月 21日(水)	歴代会長会	13:30	教育会館(例会終了後)
8月28日(水)	8月度定例理事会	16:00	佐平ビル(9階会議室)



会長スピーチ

佐藤 信雄会長

2024-25年度の福島中央ロータリークラブ第35代会長を務めさせていただく佐藤信雄です。

このような大役を仰せつかり、未熟者で会員皆様にはご迷惑をおかけすることも多々あるかとは思いますが、皆様のお力添えをいただきながら、クラブの発展となりますよう、微力ではありますが一生懸命努めてまいります。私はクラブ幹事の経験がないので、皆様のご指導・ご協力を切にお願い申し上げ、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

今年度の国際ロータリー会長のステファニー・A・アーティック氏は、史上二人目の女性会長で、「ロータリーのマジック」というテーマを掲げました。

マジックとは「魔法」ではなく、私たちの力を結集し、行動し、素晴らしい目標を具現するという意味です。

さらにアーティック会長は、「ポリオ撲滅まであと一步のところまで来ました(常在国はパキスタンとアフガニスタンの2か国、そのほかワクチン由来の発症国が数か国、これらを根絶させないでここで止めてしまえば、また爆発的に増えてきます)。

ロータリーはこれに満足することなく、次なる課題に取り組む心構えが必要。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すために新たなビジョンの実現に向けて行動を起こす時が来ている。」とも述べています。

加えて、「3-Year Rolling Targets Plan(3年間の目標と計画)」の策定と検証という今までにない新しい方針が立てられました。そして、その目標と計画をクラブセントラルへの入力求められています。

2024-25年度のRI2530地区早川敬介ガバナーは、「RIのテーマ「ロータリーのマジック」の具現に向けて、地区運営方針として「世界でよいことをしよう! DOING GOOD IN THE WORLD!」「地域でよいことをしよう! DOING GOOD IN OUR DISTRICT!」を掲げて活動し、「ロータリーを楽しもう! ENJOY ROTARY LIFE!」を実践していく。」としています。

国際ロータリークラブと第2530地区ロータリークラブのスローガンを具現するために、福島中央ロータリークラブは以下の目標を掲げました。

目標の説明の前に、当ロータリークラブ設立以来34年間堅持してまいりました会費ですが、クラブ員の減少と(ピーク時より15名ほど減少しております)、世界情勢の不安定さ・為替レートの円安などの影響により例会場費など諸物価高騰の影響で、当クラブの運営費の見直しを行いました。それでもなお予算編成ができず、やむを得ず会費の改訂を行うことにいたしました。

この改訂にご理解を賜り感謝申し上げます。

目標

1. コロナ禍によりクラブ活動が停滞していた部分がありましたが、昨年5月に第5類に移行したことを受け、コロナ禍以前の、それ以上の活気あるクラブの活動を目指します。例えば、例会に於いて各委員会の活動目標や実施報告、さらに次回に向けての改善点の検証。また、会員の事業を通してのエピソードやクラブ員の座右の銘など自由な題材での卓話など、クラブ員の皆様の思いを述べる場を設けたいと思います。前年度でしたか、西屋さんの卓話で「第2次世界大戦時の軍部の麻薬」の話は印象に残り、とても良かったと思います。このように皆様の卓話を盛り込んでいきたいと思ひます。
2. 当クラブの大きな課題の一つに会員減少があります。純増2名以上の会員の増強を図ってまいります。昨年度行ったオープン例会を活用して、とにかく増強を図らねばならないと考えております。
3. クラブ財政逼迫の対処として、外注していた作業を内製化

「会長幹事バッジ引き継ぎ式」



齋藤康隆直前幹事 山田稔直前会長 佐藤信雄会長 多田憲司幹事

たします。つまり「手作りのクラブ運営」を目指します。これにはクラブ会員皆様のご協力を得なければなりません。まずは、会報委員会を中心に会報を手づくりとします。また、教育会館を例会場とした時に委員会ごとに担当を決め準備にあたっていただきます。この担当スケジュールはお手元のペーパーによります。この手作りのクラブ運営を通して皆様のクラブへの参加意欲を高めていただければと思っております。

4. 今年度は創立35周年の年であり、記念事業として何ができるか実行委員会を立ち上げ検討してまいります。実行委員長に安藤正道会員になっていただきました。近く実行委員会のメンバーが決まると思いますのでよろしくお願いいたします。この周年事業が新たな奉仕活動に結びつけばと思っております。
5. 他クラブや他地区のクラブへのメイキャップを企画し、他クラブの例会の状況を勉強すると共に懇親を深めてまいりたいと思ひます。特に東京地区のクラブへのメイキャップを実施し、その後の視察・観光を通してエンジョイ・ロータリーを体験したいと思ひます。
6. 多方面の識者やボランティア団体の卓話を企画してまいります。例えば、「ニーサ」についての講習や、福島市で問題になっている「ゴミ」の現状や分別について、当クラブ員による税法改正、今話題になっている電気自動車(EV)など皆様が事業または日常に於いて知りたいことなど出していただけての卓話などを企画してまいりたいと思ひます

クラブ全員の皆様が、例会の出席向上、各委員会の活性化、クラブ事業・分区事業への参加、地区セミナー・地区大会などに積極的に参加してまいりましょう。

特に今期は分区事業の「インターシティ・ミーティング」の担当となっております。実行委員長に紺野信会員になっていただきましたので、近く実行委員会を立ち上げますが、皆様のご協力をお願いいたします。

最後になりますが35年前にチャーターメンバーの方々が立ち上げ、先輩諸氏のご努力によって発展し現在に至っております。加えて二人のガバナーを輩出するという名誉あるクラブですので、この伝統を守りながらも、IT化など時代の変化に対応した新たな取り組みへチャレンジしてまいりたいと考えております。正直な話、他のクラブの方からあまりよくない噂が耳に入ってきております。

先輩会員の方々から意見をいただき、会員歴の浅い方からも意見をいただきながら当クラブを運営してまいりたいと考えております。

会員皆様のご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。一年間、宜しくお願いいたします。

2024-25年度 地区役員・委員委嘱状及び任命状

〈委嘱状〉

平井 義郎PG

地区ラーニングファシリテーター/地区ラーニング委員会委員長/
戦略計画委員会委員長/RLI委員会担当相談役

芳賀 裕PG

地区運営管理委員会委員長/RI規定検討委員会副委員長/
戦略計画委員会副委員長/会員増強委員会担当相談役/
規定委員会委員長

〈任命状〉

安藤 正道会員 ローターアクト委員会委員

箭内 一典会員 地区規定委員会委員

穴戸 宏行会員 ロータリー財団委員会 グローバル補助金委員会委員長

山田 稔会員 RLI委員会ファシリテーター

佐藤 龍史会員 ロータリー財団委員会副委員長



新会員紹介 石橋 真一会員

福島民友新聞社の石橋です。
出身地は本宮市です。
福島民友では編集記者として取材活動に
当たっていましたが、現在は総務局で労務
関係などの業務に携わっています。
このたび福島中央ロータリークラブにお誘
いいただき、ありがとうございます。
ロータリークラブ活動は、2001~2004
年に勤務しておりました三春支局(現田村
支局)で、三春ロータリークラブに所属して
以来となります。
再びロータリークラブに関わることに感謝
しています。どうぞ、よろしくお願いいたします
ます。

会員

7月2日 鈴木 努会員

7月21日 佐藤 龍史会員

7月26日 鴨田 亮会員

パートナー

7月4日 斎藤 高紀会員のパートナー

7月13日 紺野 信会員のパートナー

7月15日 多田 憲司会員のパートナー

7月31日 鍛冶 輝雄会員のパートナー

7月31日 梅津 寿光会員のパートナー



**HAPPY
BIRTHDAY**
7月のお誕生祝

ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員

佐藤 信雄会長

「佐藤年度がスタートしました。不束者です
が、1年間よろしくお願いします。」

芳賀 裕PG

「佐藤信雄会長年度のスタートを祝って」

熊坂 友好会員

「佐藤会長、多田幹事 1年間頑張ってください。」

穴戸 宏行会員

「佐藤会長、多田幹事 1年間よろしくお願いいたします。」

鈴木 和夫会員

「これからの1年間よろしくお願いします。」

渡邊 英世会員

「6月27日に福島県名工会の総会があり、理事となりました。」



植木 博隆

梅津 寿光

遠藤 幸喜

鍛冶 輝雄

熊坂 友好

小林 潤子

斎藤 高紀

斎藤 康隆

坂本 和司

佐藤 和子

佐藤 元彦

佐藤 龍史

穴戸 宏行

鈴木 和夫

鈴木 努

多田 憲司

西屋 明

芳賀 裕

箭内 一典

山田 稔

渡部九二五郎

目標 200万円

本日の投入額 22件 33,000円

累計 33,000円